

令和4年第2回真岡市教育委員会 会議録

1. 招集日時

令和4年3月10日（木） 午後2時00分

2. 場所

真岡市役所 教育委員室

3. 出席委員の氏名

- | | |
|--------------------|---------|
| (1) 教育委員会教育長 | 田 上 富 男 |
| (2) 教育委員会委員（職務代理者） | 杉 村 廣 子 |
| (3) 教育委員会委員 | 大 島 克 弘 |
| (4) 教育委員会委員 | 佐 藤 進 |
| (5) 教育委員会委員 | 邑 樂 美智子 |

4. 委員及び傍聴人を除くほか議場に出席した者の氏名

- | | |
|---------------------------------|---------|
| (1) 教育次長 | 石 崎 慎太郎 |
| (2) 学校教育課長 | 藤 田 主 計 |
| (3) 文化課長 | 野 村 智 成 |
| (4) スポーツ振興課長（兼）国体・障害者スポーツ大会推進室長 | 長 瀧 勝 徳 |
| (5) 学校教育課総務係長 | 青 山 泰 也 |
| (6) 学校教育課教育政策係長 | 鈴 木 美 苗 |
| (7) 学校教育課教育政策係主事 | 橋 本 佳 |
| (8) 学校教育課総務係副主幹 | 道 脇 勇 |

5. 会議録の作成に当たった者

学校教育課総務係副主幹 道 脇 勇

6. 令和4年第2回真岡市教育委員会会議録署名委員として指名を受けた委員

邑 樂 美智子 委員
杉 村 廣 子 委員

7. 開会時間 午後2時00分

8. 令和4年第1回真岡市教育委員会会議録の承認

青山学校教育課総務係長が、会議録案を事前に送付した旨を説明し、審議の結果、原案のとおり承認された。

9. 教育長等の事務報告

石崎教育次長が、真岡市教育委員会教育長等の事務報告を行った。

10. 議案

議案第4号「真岡市教育委員会事務局処務規程の一部改正について」

藤田学校教育課長から、今回の改正は、令和4年度組織機構の改編により、学校教育課情報教育推進係を廃止するにあたり、係の配置において学校教育課の情報教

育推進係を削除するとともに、事務分掌において情報教育推進係の一部を教育政策係へ追加するものであると説明し、審議となった。

審議の結果、原案のとおり承認された。

議案第5号「真岡市英語検定料及び漢字検定料助成事業実施要綱の一部改正について」

鈴木学校教育課教育政策係長から、今回の改正は、助成額の基準を整理するものであること、また、申請書提出方法を、郵送の他、教育委員会への直接提出も可能とするとともに、申請書への添付書類を、受験を証する書類とすることで、交付要件の緩和を図るものであると説明し、審議となった。

大島委員から、年間にどのくらいの申請者がいるのかと質問があり、鈴木学校教育課教育政策係長が、令和元年度は261件、令和2年度はコロナの影響で第1回目の検定が行われなかったため減少し、224件である。今年度は持ち直してきている。ほぼ横ばいで推移している状況であると説明。

邑楽委員から、検定料の補助について、学校や保護者からはどのような声が届いているかと質問があり、鈴木学校教育課教育政策係長が、教育委員会には補助してもらいありがたいという声が届いていると説明。

また、同委員から、検定料は級によって異なるが、一律に半額ということかと質問があり、鈴木学校教育課教育政策係長が、級によって、また会場が本会場か準会場かによっても金額が異なる。本市においては、各級の準会場における検定料の半額を助成していると説明。

審議の結果、原案のとおり承認された。

議案第6号「真岡市文化財保護審議会委員の委嘱について」

野村文化課長から、令和4年4月1日から令和6年3月31日までの2年間委嘱予定である真岡市文化財保護審議会委員について説明し、審議となった。

杉村委員から、委員の人数は5名と決まっているのかと質問があり、野村文化課長が、真岡市文化財保護条例施行規則の中で委員は5名と決められていると説明。

また、同委員から、経験年数が長い人がいる間に、審査に関する知識等を引き継ぐため、経験の浅い人に入ってもらうことは考えているのかと質問があり、野村文化課長が、現在の審議会委員は、文化財調査委員を経験し、文化財についての造詣を深めた上で、文化財保護審議会委員になっていただいていると説明。

邑楽委員から、委員になるのには、文化財に関する資格は必要かと質問があり、野村文化課長が、特に資格は必要ない。今まで文化財関係に携わってきた方や、大学で文化財関係を経験された方を主に委員として委嘱していると説明。

審議の結果、原案のとおり承認された。

議案第7号「真岡市文化財調査員の委嘱について」

野村文化課長から、令和4年4月1日から令和6年3月31日までの2年間委嘱予定である真岡市文化財調査員について説明し、審議となった。

審議の結果、原案のとおり承認された。

議案第8号「真岡市スポーツ推進委員の委嘱について」

長瀧スポーツ振興課長（兼）国体・障害者スポーツ大会推進室長から、令和4年4月1日から令和6年3月31日までの2年間委嘱予定である真岡市スポーツ推進委員について説明し、審議となった。

佐藤委員から、退任者の5名の中には、経験年数が3年ぐらいの浅い方がいる一方で、再任者の中には、40年以上の経験年数の方もいるが、退任はどのように決まるのかと質問があり、長瀧スポーツ振興課長（兼）国体・障害者スポーツ大会推進室長が、スポーツ推進委員は内規で70歳定年制を設けており、70歳を迎えると退任となる。また、本人からの申し出による退任もあると説明。

審議の結果、原案のとおり承認された。

11. 報告

報告第5号「令和4年第1回市議会定例会一般質問について」

石崎教育次長から、石崎教育次長より質疑及び質問の趣旨と答弁の概要について報告した。また、令和4年第1回市議会定例会において、山中孝雄氏の教育長就任について承認されたと報告した。

報告第6号「令和4年度外国人児童生徒教育支援事業について」

鈴木学校教育課教育政策係長から、昨年、高校進学に向けて、1人でも多くの外国人児童生徒と保護者が日本の高校や入試の制度を理解し準備できるように実施した多言語による進学ガイダンスの実施内容について説明。また、本市の多言語化する外国人児童生徒及び家庭への対応能力を強化するため、本年度実施した多言語web連絡帳E-Tra ノートの実証実験についての実施内容について説明。

杉村委員から、どのぐらいの外国人が在籍しているのか。また、これからこの事業を学校や保護者へ周知徹底するために、今回はどのような取り組みをしたのかと質問があり、鈴木学校教育課教育政策係長が、今年度は、年度途中の企画であったため、中学校の進路指導に絞って事業を行った。現在中学校に在籍している外国人は、86名であり、その内、日本語の指導が必要とされている生徒は22名である。今回は事業の周知のために、校長会での説明や学校側でぜひ事業に参加して欲しいと思われる家庭に先生から直接声を掛けてもらった。また、チラシを作成し、学校を通じて保護者へ配布したほか、外国人が経営するレストランにポスターを貼ったりしたと説明。

12. その他

(1) 教職員の離任式及び辞令交付式等について

青山学校教育課総務係長から、離任式及び辞令交付式の日時、開催場所等を説明。

(2) 令和4年度関東甲信越静岡市町村教育委員会連合会総会及び研修会（栃木県大会）の参加について

青山学校教育課総務係長から、令和4年5月21日に真岡市の市民“いちご”ホールで開催予定の令和4年度関東甲信越静岡市町村教育委員会連合会総会及び研修会が、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から書面決議での開催となったことを説明。

(3) 令和4年5月の教育委員会について

青山学校教育課総務係長から、5月の開催日程案について、5月24日（火）午前10時または、25日（水）午前10時の2案を提案し、協議の結果、5月24日（火）午前10時に決定される。

13. 閉会時間 午後2時40分